# Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP04/018233

International filing date: 01 December 2004 (01.12.2004)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP

Number: 2004-135975

Filing date: 30 April 2004 (30.04.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 27 January 2005 (27.01.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in

compliance with Rule 17.1(a) or (b)



## 日本国特許庁 JAPAN PATENT OFFICE

01.12.2004

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 Date of Application: 2004年 4月30日

出 願 番 号 Application Number:

特願2004-135975

[ST. 10/C]:

[JP2004-135975]

出 願 人
Applicant(s):

JFEスチール株式会社

特許庁長官 Commissioner, Japan Patent Office 2005年 1月14日





特許願 【書類名】 2004S00536 【整理番号】 平成16年 4月30日 【提出日】 特許庁長官 今井 康夫 殿 【あて先】 C22C 38/00 【国際特許分類】 【発明者】 JFEスチール株式会社 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 【住所又は居所】 内 宮田 由紀夫 【氏名】 【発明者】 JFEスチール株式会社 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 【住所又は居所】 内 木村 光男 【氏名】 【発明者】 | FEスチール株式会社 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 【住所又は居所】 内 板倉 教次 【氏名】 【発明者】 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 JFEスチール株式会社 【住所又は居所】 内 正村 克身 【氏名】 【特許出願人】 000001258 【識別番号】 IFEスチール株式会社 【氏名又は名称】 【代理人】 100099531 【識別番号】 【弁理士】 小林 英一 【氏名又は名称】 【先の出願に基づく優先権主張】 特願2004-24687 【出願番号】 平成16年 1月30日 【出願日】 【手数料の表示】 【予納台帳番号】 018175 16,000円 【納付金額】 【提出物件の目録】 特許請求の範囲 1 【物件名】

【物件名】

【物件名】

【物件名】

【包括委任状番号】

明細書 1 図面 1

要約書 1

9706373

#### 【書類名】特許請求の範囲

#### 【請求項1】

mass%で、

C:0.0100%未満、

 $Cr: 10 \sim 14\%$ 

N:0.0100%未満、

Ni: 3~8%

を、下記(1)式で定義されるCsolが0.0050%未満を満足するように、含有する組成を有することを特徴とする溶接熱影響部の耐粒界応力腐食割れ性に優れたラインパイプ用マルテンサイト系ステンレス鋼管。

記

 $Csol = C - 1/3 \times Cpre$  ..... (1)

C、Ti、Nb、Zr、V、Hf、Ta、N:各元素の含有量(mass%)、なお、Cpre<0の場合は、Cpre=0

#### 【請求項2】

前記組成が、mass%で、

C:0.0100%未満、

Cr: 10~14%.

Si:1.0%以下、

P:0.03%以下、

N:0.0100%未満、

Ni: 3 ~ 8 %,

Mn: 2.0%以下、 S: 0.010%以下、

A1:0.10%以下

を含み、さらにCu:4%以下、Co:4%以下、Mo:4%以下、W:4%以下のうちから選ばれた1種又は2種以上、および、Ti:0.15%以下、Nb:0.10%以下、V:0.10%以下、Zr:0.10%以下、Hf:0.20%以下、Ta:0.20%以下のうちから選ばれた1種または2種以上を、前記(1)式で定義されるCsolが0.0050%未満を満足するように、含有し、残部 $Pextrapsize{1}$ eおよび不可避的不純物からなる組成であることを特徴とする請求項1に記載のラインパイプ用マルテンサイト系ステンレス鋼管。

#### 【請求項3】

前記組成に加えてさらに、mass%で、Ca:0.010%以下、Mg:0.010%以下、REM:0.010%以下、B:0.010%以下のうちから選ばれた 1 種または 2 種以上を含有することを特徴とする請求項 2 に記載のラインパイプ用マルテンサイト系ステンレス鋼管。

#### 【書類名】明細書

【発明の名称】ラインパイプ用マルテンサイト系ステンレス鋼管

#### 【技術分野】

#### [0001]

本発明は、天然ガスのラインパイプ用として好適なマルテンサイト系ステンレス鋼管に 係り、とくに溶接熱影響部の耐粒界応力腐食割れ性の改善に関する。

#### 【背景技術】

#### [0002]

近年、原油価格の高騰や、近い将来に予想される石油資源の枯渇に対処するために、従 来省みられなかったような深層油田や、開発が一旦放棄されていた腐食性の強いサワーガ ス田等に対する開発が、世界的規模で盛んになっている。このような油田、ガス田におい て、使用される鋼管としては、耐食性に富むことが求められている。

#### [0003]

従来、例えば、炭酸ガスを多量に含む環境では、防食手段としてインヒビターの添加が 行われてきた。しかし、インヒビターの添加は、コスト高となるだけでなく、高温では十 分な効果が得られないことがあるため、最近ではインヒビターを使用せず、耐食性に優れ た鋼管を使用する傾向となっている。

#### $[0\ 0\ 0\ 4\ ]$

ラインパイプ用材料としては、API規格にC量を低減した12%Crマルテンサイト系ス テンレス鋼が規定され、最近では、CO<sub>2</sub> を含有する天然ガスのラインパイプ用としてマ ルテンサイト系ステンレス鋼管が多く使用されるようになってきている。しかし、マルテ ンサイト系ステンレス鋼管は、円周溶接時に予熱や後熱を必要とするうえ、溶接部靭性が 劣るという問題があった。

#### [0005]

このような問題に対し、例えば、特許文献1には、C:0.02%以下、N:0.07%以下に 低減するとともに、Cr、Ni、Mo量をC量との関係で、また、Cr、Ni、Mo量をC、N量との 関係で、さらにNi、Mn量をC、N量との関係で、適正量に調整したマルテンサイト系ステ ンレス鋼が提案されている。特許文献1に記載された技術で製造されたマルテンサイト系 ステンレス鋼管は、耐炭酸ガス腐食性、耐応力腐食割れ性、溶接性、高温強度および溶接 部靭性がともに向上するとしている。

## 【特許文献1】特開平9-316611号公報

#### 【発明の開示】

#### 【発明が解決しようとする課題】

#### [0006]

しかし、最近、CO<sub>2</sub> を含有する環境下で、マルテンサイト系ステンレス鋼管の円周溶 接した溶接熱影響部(以下、HAZともいう)に割れが生じ、マルテンサイト系ステンレ ス鋼管における新たな問題となっている。

#### [0007]

従来、CO<sub>2</sub> を含有する環境下で発生する腐食としては、母材の減肉を伴う、いわゆる 炭酸ガス腐食、あるいは母材の応力腐食割れが知られている。しかし、最近問題となって いる割れは、円周溶接部の溶接熱影響部のみに発生し、しかも、いわゆる炭酸ガス腐食が 全く問題とならないようなマイルドな環境でも発生するという特徴を有している。また、 この割れは、粒界割れを呈することから、粒界応力腐食割れ(Intergranular Stress Cor rosion Cracking) (以下、IGSCCともいう)であると推定されている。

#### [0008]

このような円周溶接のHAZに発生する、IGSCCを防止することに対しては、600~650 ℃で3~5min間保持するという、短時間の溶接後熱処理が有効であることが判明してい る。しかし、溶接後熱処理は、短時間といえども、パイプライン敷設工程を複雑にし、か つ工期を長びかせ、敷設コストを上昇させるという問題がある。このようなことから、溶 接後熱処理を行うことなく、CO2 を含有する環境下でHAZのIGSCCを防止できる、マル テンサイト系ステンレス鋼管が要望されている。

#### [0009]

本発明は、かかる要望に鑑みて成されたものであり、溶接熱影響部の耐粒界応力腐食割 れ性に優れたラインパイプ用マルテンサイト系ステンレス鋼管を提案することを目的とす

#### 【課題を解決するための手段】

#### [0010]

本発明者らは、上記した課題を達成するために、まず、マルテンサイト系ステンレス鋼 管円周溶接部のHAZで発生するIGSCCの発生原因について鋭意考究した。その結果、基 地中に分散する炭化物が溶接時の熱サイクルにより一旦基地中に固溶し、その後の溶接熱 サイクルで旧オーステナイト粒界にCr炭化物として析出し、旧オーステナイト粒界近傍に Cr欠乏層が形成されるため、IGSCCが発生することを突き止めた。

#### $[0\ 0\ 1\ 1]$

このようなメカニズムによる応力腐食割れは、オーステナイト系ステンレス鋼では知ら れていたが、マルテンサイト系ステンレス鋼で発生するとは考えられていなかった。とい うのは、マルテンサイト組織中のCrの拡散速度は、オーステナイト組織中のそれに比較し 非常に大きいことから、マルテンサイト系ステンレス鋼では、Cr炭化物が生成してもCrが 連続的に供給されるため、Cr欠乏層は形成されないと考えられていたからである。しかし 、本発明者らは、マルテンサイト系ステンレス鋼でも特定の溶接条件の下ではCr欠乏層が 形成され、マイルドな腐食環境でも粒界応力腐食割れに至ることを初めて見出した。

#### [0012]

このようなことから、本発明者らは、IGSCCを防止するためには、旧オーステナイト粒 界にCr炭化物の形成を防止することが重要であり、そのためには、C含有量そのものを極 端に低下するか、あるいはさらにTi、Nb、V、Zr等のCrよりも炭化物形成能の大きな炭化 物形成元素を添加し、Cr炭化物の形成に有効に作用する有効固溶C量Csolを0.0050mass %未満とすることが必要であることを見出した。

#### [0013]

本発明は、上記した知見に基づき、さらに検討を加えて完成されたものである。すなわ ち、本発明の要旨はつぎの通りである。

(1) mass%で、C:0.0100%未満、N:0.0100%未満、Cr:10~14%、Ni:3~8%を 、次(1)式

 $Csol = C - 1/3 \times Cpre \qquad \dots \qquad (1)$ 

( ここで、 $Cpre=12.0 \ Ti/47.9+1/2 \ (Nb/92.9+Zr/91.2) \ +1/3 \ (V/50.9+Hf/92.9+Zr/91.2)$ 178.5+Ta/180.9) - N/14.0 、C、Ti、Nb、Zr、V、Hf、Ta、N:各元素の含有量( mass%)。なお、Cpre<0の場合は、Cpre=0とする。)

で定義されるCsolが0.0050%未満を満足するように、含有する組成を有することを特徴 とする溶接熱影響部の耐粒界応力腐食割れ性に優れたラインパイプ用マルテンサイト系ス テンレス鋼管。

- (2) (1) において、前記組成が、mass%で、C:0.0100%未満、N:0.0100%未満、 Cr:10~14%、Ni:3~8%、Si:1.0%以下、Mn:2.0%以下、P:0.03%以下、S:0. 010%以下、Al:0.10%以下を含み、さらにCu:4%以下、Co:4%以下、Mo:4%以下 、W:4%以下のうちから選ばれた1種又は2種以上、およびTi:0.15%以下、Nb:0.10 %以下、V:0.10%以下、Zr:0.10%以下、Hf:0.20%以下、Ta:0.20%以下のうちから 選ばれた1種または2種以上を、前記(1)式で定義されるCsolが0.0050%未満を満足 するように、含有し、残部Feおよび不可避的不純物からなる組成であることを特徴とする ラインパイプ用マルテンサイト系ステンレス鋼管。
- (3) (2) において、前記組成に加えてさらに、mass%で、Ca:0.010%以下、Mg:0.0 10%以下、REM:0.010%以下、B:0.010%以下のうちから選ばれた1種または2種以上 を含有することを特徴とするラインパイプ用マルテンサイト系ステンレス鋼管。

#### 【発明の効果】

[0014]

本発明によれば、ラインパイプ用として母材の強度、靭性に優れるうえ、母材の耐炭酸ガス腐食性、耐応力腐食割れ性にも優れ、さらに溶接熱影響部のIGSCCを溶接後熱処理を施すことなく防止できる、耐粒界応力腐食割れ性に優れたラインパイプ用マルテンサイト系ステンレス鋼管を安価に提供でき、産業上格段の効果を奏する。なお、本発明鋼管は、熱間加工性にも優れており、表面欠陥等の発生が少なく、生産性が向上するという効果もある。

## 【発明を実施するための最良の形態】

#### [0015]

まず、本発明鋼管の組成限定理由について説明する。以下、組成におけるmass%は単に%と記す。

#### [0016]

C:0.0100%未満

Cは、鋼に固溶し、鋼の強度増加に寄与する元素であるが、多量の含有は、HAZを硬化させ、溶接割れを生じさせたり、溶接熱影響部靭性を劣化させるため、本発明では、できるだけ低減することが望ましい。本発明では、とくにHAZのIGSCCを防止するため、Cr炭化物として析出してCr欠乏層形成の原因となるCを、0.0100%未満に限定する。Cを0.0100%以上含有すると、HAZのIGSCCを防止することが困難となる。なお、好ましくは0.0050%未満である。

#### [0017]

本発明では、上記したC含有量範囲内としたうえでさらに、有効固溶C量Csolが0.0050%未満となるように各元素含有量を調整する。これにより、Cr欠乏層の形成が抑制され、HAZのIGSCCを実質的に抑制できる。なお、「実質的に抑制できる」とは、一般的な溶接条件(例えば、入熱:10kJ/cinのTIG溶接)で溶接された溶接継手が、ラインパイプ用マルテンサイト系ステンレス鋼管の一般的な使用環境下(例えば、5%NaCl水溶液( $CO_2$  : 0.1MPa、100%))でIGSCCを発生しないことを意味する。

#### [0018]

有効固溶C量Csolは、次(1)式

 $C_{sol} = C - 1/3 \times C_{pre} \qquad \dots \qquad (1)$ 

で定義される。有効固溶C量Csolは、溶接時にCr炭化物として析出しCr欠乏層を形成するC量を意味し、全C量から、溶接時に炭化物形成元素Ti、Nb、Zr、V、Hf、Taと結合して析出するC量、すなわちCr炭化物の形成に寄与しないC量を、差し引いた量である。なお、Cpreは、次(2)式

Cpre=12.0 {Ti/47.9+1/2 (Nb/92.9+Zr/91.2) +1/3 (V/50.9+Hf/178.5+Ta/180.9) -N/14.0} ...... (2)

(ここで、C、Ti、Nb、Zr、V、Hf、Ta、N:各元素の含有量(mass%))で定義されるものであり、Cpre<0の場合は、Cpre=0とする。なお、Cpreの計算に際しては、(2)式中に含まれる元素のうち、含有しない元素は零として、計算するものとする。また、各元素で炭化物の形成のしやすさ、炭化物の溶解のしやすさが異なるため、各種実験結果を総合して、本発明で使用するCpreでは、Nb、Zrの効果はTiの1/2とし、V、Hf、Taの効果はTiの1/3とした。また、本発明ではNを含有するため、Ti、Nb、Zr、V、Hf、Taは優先して窒化物を形成する。このため、本発明で使用するCpreでは、窒化物形成に寄与するTi、Nb、Zr、V、Hf、Ta相当量を差し引いた形としている。また、溶接熱影響部でのCr欠乏層形成という非平衡状態であることを考慮すると、Cr炭化物以外の炭化物を形成しCr炭化物の形成を防止できる有効な、C量は、Cpreの1/3であると見積った

#### [0019]

なお、Ti、Nb、Zr、V、Hf、Taのいずれも含有しない場合は、Cpreは負となり、本発明ではCpre=0とするため、有効固溶C量Csol=Cとなり、有効固溶C量が0.0050%未満を満足するようにするには、C含有量を0.0050%未満に調整することが肝要となる。

## [0020]

N:0.0100%未満

Nは、Cと同様に、鋼に固溶し、鋼の強度増加に寄与する元素であり、多量の含有は、 HAZを硬化させ、溶接割れを生じさせたり、溶接熱影響部靭性を劣化させるため、本発 明では、できるだけ低減することが望ましい。また、Nは、Ti、Nb、Zr、V、Hf、Taと結 合し窒化物を形成するため、炭化物を形成しCr炭化物の形成を防止できるTi、Nb、Zr、V 、Hf、Ta量を低減することになり、Cr欠乏層形成を抑制し粒界応力腐食割れを抑制する効 果を低下させることになる。このため、Nはできるだけ低減することが望ましい。上記し たNの悪影響は、0.0100%未満であれば許容できるため、本発明では、Nは0.0100%未満 に限定した。なお、好ましくは0.0070%以下である。

#### $[0\ 0\ 2\ 1]$

Cr:10~14%

Crは、耐炭酸ガス腐食性、耐孔食性、耐硫化物応力腐食割れ性等の耐食性を向上させる ための基本元素であり、本発明では10%以上の含有を必要とする。一方、14%を超える含 有は、フェライト相が形成しやすくなり、マルテンサイト組織を安定して確保するために 多量の合金元素添加を必要とし材料コストの上昇を招く。このため、本発明ではCrは10~ 14%の範囲に限定した。

#### [0022]

Ni:  $3 \sim 8 \%$ 

Niは、耐炭酸ガス腐食性を向上させるとともに、固溶して強度上昇に寄与し、また靭性 を向上させる元素である。また、オーステナイト形成元素であり、低炭素域でマルテンサ イト組織を安定して確保するために有効に作用する。このような効果を得るためには、3 %以上の含有を必要とする。一方、8%を超える含有は、変態点が低下しすぎて、所望の 特性を確保するための焼戻し処理が長時間となるうえ、材料コストの高騰を招く。このた め、Niは $3\sim8$ %の範囲に限定した。なお、好ましくは $4\sim7$ %である。

上記した基本成分に加えて、さらに下記の元素を含有することができる。

#### [0024]

Si:1.0%以下

Siは、脱酸剤として作用するとともに、固溶して強度増加に寄与する元素であり、本発 明では0.1%以上含有することが望ましい。しかし、Siはフェライト生成元素でもあり、1 .0%を超える多量の含有は母材およびHAZ靭性を劣化させる。このため、Siは1.0%以 下に限定した。なお、好ましくは0.1~0.5%である。

#### [0025]

Mn: 2.0%以下

Mnは、固溶して鋼の強度上昇に寄与するとともに、オーステナイト生成元素であり、フ エライト生成を抑制して母材およびHAZ靭性を向上させる。このような効果を得るため には0.2%以上含有することが好ましい。一方、2.0%を超えて含有しても効果が飽和する 。このため、Mnは2.0%以下に限定した。なお、好ましくは0.2~1.2%である。

#### [0026]

P:0.03%以下

Pは、粒界に偏析して粒界強度を低下させ、耐応力腐食割れ性に悪影響を及ぼすため、 0.03%以下に限定した。なお、熱間加工性の観点からは、0.02%以下とすることが好まし

#### [0027]

S:0.010%以下

Sは、MnS等の硫化物を形成し、加工性を低下させるため、0.010%以下に低減すること が望ましい。

#### [0028]

A1:0.10%以下

A1は、脱酸剤として作用し、0.01%以上含有することが好ましいが、0.10%を超える含有は靭性を劣化させる。このため、A1は0.10%以下に限定した。なお、好ましくは0.01~0.04%である。

#### [0029]

Cu: 4%以下、Co: 4%以下、Mo: 4%以下、W: 4%以下のうちから選ばれた1種又は2種以上

Cu、Co、Mo、Wはいずれも、 $CO_2$  を含有する天然ガスを輸送するラインパイプ用鋼管に要求される特性である耐炭酸ガス腐食性を向上させる元素であり、本発明では選択して1種又は2種以上をCr、Niとともに、含有する。

#### [0030]

Cu: 4%以下

Cuは、耐炭酸ガス腐食性を向上させるとともに、オーステナイト形成元素であり、低炭素域でマルテンサイト組織を安定して確保するために有効に作用する。このような効果を得るためには、1 %以上含有することが好ましい。一方、4 %を超えて含有しても、効果が飽和し、含有量に見合う効果が期待できなくなり経済的に不利となる。このため、Cuは4 %以下の範囲に限定した。なお、好ましくは $1.5\sim2.5\%$ である。

#### [0031]

Co: 4%以下、

Coは、Cuと同様に、耐炭酸ガス腐食性を向上させるとともに、オーステナイト形成元素であり、低炭素域でマルテンサイト組織を安定して確保するために有効に作用する。このような効果を得るためには、1%以上含有することが好ましい。一方、4%を超えて含有しても、効果が飽和し、含有量に見合う効果が期待できなくなり経済的に不利となる。このため、Coは4%以下の範囲に限定した。なお、好ましくは1.5~2.5%である。

#### [0032]

Mo: 4%以下

Moは、耐応力腐食割れ性、さらには耐硫化物応力腐食割れ性、耐孔食性を向上させる元素であり、その効果を得るためには1%以上含有することが好ましい。一方、4%を超える含有は、フェライトを生成しやすくするとともに、耐硫化物応力腐食割れ性向上効果が飽和し、含有量に見合う効果が期待できなくなり経済的に不利となる。このため、Moは4%以下の範囲に限定した。なお、好ましくは $1.5\sim3.0$ %である。

#### [0033]

W:4%以下

Wは、Moと同様に、耐応力腐食割れ性、さらには耐硫化物応力腐食割れ性、耐孔食性を向上させる元素であり、その効果を得るためには1%以上含有することが好ましい。一方、4%を超える含有は、フェライトを生成しやすくするとともに、耐硫化物応力腐食割れ性向上効果が飽和し、含有量に見合う効果が期待できなくなり経済的に不利となる。このため、Wは4%以下の範囲に限定した。なお、好ましくは1.5~3.0%である。

#### [0034]

Ti:0.15%以下、Nb:0.10%以下、V:0.10%以下、Zr:0.10%以下、Hf:0.20%以下、Ta:0.20%以下のうちから選ばれた1種または2種以上

Ti、Nb、V、Zr、Hf、Taはいずれも、炭化物形成元素であり、1種または2種以上を選択して含有する。Ti、Nb、V、Zr、Hf、Ta はいずれも、Crに比べて炭化物形成能が強く、溶接熱で固溶したCが、冷却時にCr炭化物として旧オーステナイト粒界に析出するのを抑制し、溶接熱影響部の耐粒界応力腐食割れ性を向上させる効果を有する。また、Ti、Nb、V、Zr、Hf、Ta の炭化物は、溶接熱で高温に加熱されても溶解しにくく固溶Cの発生が抑制され、このことを介してCr炭化物の形成を抑制し、溶接熱影響部の耐粒界応力腐食割れ性を向上させるという効果もある。本発明では、1種または2種以上を選択して含有する。このような効果を得るためには、Ti:0.03%以上、Nb:0.03%以上、V:0.02%以上、Zr:0.03%以上、Hf:0.03%以上、Ta:0.03%以上、それぞれ含有することが好ましい。一方、Ti:0.15%、Nb:0.10%、V:0.10%、Zr:0.10%、Hf:0.20%、Ta:0.20%を超

える含有は、耐溶接割れ性、靭性を劣化させる。このため、Ti:0.15%以下、Nb:0.10% 以下、V:0.10%以下、Zr:0.10%以下、Hf:0.20%以下、Ta:0.20%以下にそれぞれ限 定した。なお、好ましくは、Ti:0.03~0.12%、Nb:0.03~0.08%、V:0.02~0.08%、  $Zr:0.03\sim0.08\%$ 、 $Hf:0.10\sim0.18\%$ 、 $Ta:0.10\sim0.18\%$  である。

#### [0035]

なお、Tiは、有効固溶C量Csolを低下させる効果が他の元素より大きく、耐IGSCC性改 善に最も有効な元素である。なお、より好ましくは0.06~0.10%である。

#### [0036]

また、Vは、高温における強度上昇にも有効な元素であり、耐IGSCC性改善以外の目的 からも含有させることが好ましい。このような効果を得るためには0.02%以上含有するこ とが好ましい。0.02%未満では、とくに80~150℃の高温強度を確保するうえで充分では なく、一方、0.10%を超える多量の含有は、靭性の劣化を招く。なお、より好ましくは0. 03~0.07%である。

#### [0037]

Ca:0.010%以下、Mg:0.010%以下、REM:0.010%以下、B:0.010%以下のうちから 選ばれた1種または2種以上

Ca、Mg、REM、Bは、いずれも熱間加工性、連続鋳造における安定製造性の向上に有効 に作用する元素であり、必要に応じ選択して含有できる。このような効果をえるためには 、Ca:0.0005%以上、Mg:0.0010%以上、REM:0.0010%以上、B:0.0005%以上、それ ぞれ含有することが好ましい。一方、Ca:0.010%、Mg:0.010%、REM:0.010%、B:0. 010%を超えて含有すると粗大介在物として存在しやすくなるため耐食性劣化、靭性低下 が著しくなる。このため、Ca:0.010%以下、Mg:0.010%以下、REM:0.010%以下、B: 0.010%以下にそれぞれ限定することが好ましい。なお、Caは、鋼管の品質安定性が高く 、製造コストも低く抑えることができ、品質安定性、経済性の観点から最も有効である。 Caのより好ましい範囲は0.005~0.0030%である。

#### [0038]

上記した成分以外の残部はFeおよび不可避的不純物である。

#### [0039]

つぎに、本発明鋼管の好ましい製造方法について、継目無鋼管を例として説明する。

#### [0040]

まず、上記した組成の溶鋼を、転炉、電気炉、真空溶解炉等の通常の溶製方法で溶製し 、連続鋳造法、造塊-分塊圧延法等の公知の方法で、ビレット等の鋼管素材とすることが 好ましい。ついで、これら鋼管素材を加熱し、通常のマンネスマンープラグミル方式、あ るいはマンネスマンーマンドレルミル方式等の工程を用いて熱間加工、造管して、所望寸 法の継目無鋼管とすることが好ましい。なお、得られた継目無鋼管は、空冷以上の冷却速 度で室温まで冷却することが好ましい。なお、プレス方式による熱間押出で継目無鋼管と しても何ら問題はない。

#### [0041]

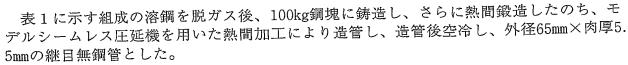
上記した組成の継目無鋼管であれば、熱間加工後、空冷以上の冷却速度で冷却すれば、 マルテンサイト組織とすることができるが、熱間加工後室温まで冷却し、焼戻し処理を施 すことが好ましい。また、熱間加工後、室温まで冷却したのち、さらにAc3 変態点以上 の温度に再加熱したのち空冷以上の冷却速度で冷却する焼入れ処理を行ってもよい。焼入 れ処理を施された継目無鋼管は、ついでAci 変態点以下の温度で焼戻し処理を行うこと が好ましい。

#### [0042]

なお、本発明鋼管は、上記したような継目無鋼管に限定されるものではなく、上記した 組成の鋼管素材を用いて、通常の工程に従い、電縫鋼管、UOE鋼管、スパイラル鋼管な どの溶接鋼管としてもよい。

#### 【実施例】

[0043]



#### [0044]

得られた継目無鋼管について、造管後冷却のままで内外表面の割れ発生の有無を目視で 調査し、熱間加工性を評価した。

#### [0045]

ついで、得られた継目無鋼管に、焼入れ焼戻し処理を施し、X-80グレードの鋼管とし た。なお、一部の鋼管では、焼入れ処理を行わず、焼戻し処理のみとした。

#### [0046]

得られた鋼管から、試験片素材を切り出し、母材について、引張試験、シャルピー衝撃 試験、炭酸ガス腐食試験、硫化物応力腐食割れ試験を実施した。試験方法はつぎのとおり とした。

#### (1) 引張試験

得られた継目無鋼管から、API 弧状引張試験片を採取し、引張試験を実施し引張特性( 降伏強さYS、引張強さTS)を求め、母材強度を評価した。

#### (2) シャルピー衝撃試験

得られた継目無鋼管から、JIS Z 2202の規定に準拠してVノッチ試験片(厚さ:5.0mm )を採取し、JIS Z 2242の規定に準拠してシャルピー衝撃試験を実施し、-40℃における 吸収エネルギー $vE_{-40}$  (J) を求め、母材靭性を評価した。

#### (3) 炭酸ガス腐食試験

得られた継目無鋼管から、厚さ3mm×幅25mm×長さ50mmの腐食試験片を機械加工によっ て採取し、腐食試験を実施し、耐炭酸ガス腐食性、耐孔食性を評価した。腐食試験は、オ ートクレーブ中に保持された3.0MPaの炭酸ガスを飽和させた150℃の20%NaC1水溶液中に 、腐食試験片を浸漬し、浸漬期間を30日間として実施した。腐食試験後の試験片について 、重量を測定し、腐食試験前後の重量減から計算した腐食速度を求めた。また、試験後の 腐食試験片について倍率:10倍のルーペを用いて試験片表面の孔食発生の有無を観察した 。孔食が発生しなかった場合を○、発生した場合を×とした。

### (4) 硫化物応力腐食割れ試験

得られた継目無鋼管から、4点曲げ試験片(大きさ:厚さ4mm×幅15mm×長さ115mm) を採取し、EFC No.17に準拠した4点曲げ試験を実施し、耐硫化物応力腐食割れ性を評 価した。使用した試験液は、5%NaC1+NaHCO3液(pH:4.5)とし、10%H<sub>2</sub>S+CO<sub>2</sub> 混合ガ スを流しながら試験を行った。付加応力はYSとし、試験期間は720時間とし、破断の有無 を測定した。破断しなかった場合を○、破断したものを×とした。

### (5) U曲げ応力腐食割れ試験

得られた継目無鋼管から厚さ4mm×幅15mm×長さ115mmの試験用素材を採取し、中央部に 、図1に示す溶接熱影響部の熱サイクルを模擬した再現溶接熱サイクルを付与した。これ ら再現溶接熱サイクル付与済みの試験片素材中央部から、厚さ2mm×幅15mm×長さ75mmの 試験片を切出し、U曲げ応力腐食割れ試験を実施した。

#### [0047]

U曲げ応力腐食割れ試験は、図2に示すような治具を用いて試験片を内半径:8mmでU 字型に曲げ、腐食環境中に浸漬する試験とした。試験期間は168時間とした。使用した腐 食環境は、5%NaCl液 (pH:2.0) 、液温:100℃、CO2 圧:0.1MPaとした。試験後、試験 片断面について、100倍の光学顕微鏡で割れの有無を観察し、耐粒界応力腐食割れ性を評 価した。割れがある場合を×、割れがない場合を○とした。

#### [0048]

得られた結果を表2に示す。

#### [0049]

## 【表1】

C         S1         Ma         S2         CT         A1         N         Index NO         Tin, N, V, Zr, Hf, Ta         Ca, MG, RG         Tin, N, V, Zr, Hf, Ta         Ca, MG, RG	H	(表1-1)	11				N.	1	<		(/0000/			Core	Csol	備光
C         Si         Mn         P         S         C         Al         N         Ou,Mo,MC,CO         Ti,Nb, Y.z.H.Ta         Ca. B. B. Co. Co. Co.           0.0045         0.15         0.85         0.105         0.001         12.1         0.0079         5.0         Mo.1.9         V:0.057         Co. 010         V:0.058         Co. 010					#		(H)	圣	K		(MIGSS 70)		a Man of	) } }	, ,	
0.0045         0.15         0.85         0.019         0.001         12.1         0.020         0.0079         5.0         Mo.1.9         V.0.057         Ca.: 0.0105         0.007         Ca.: 0.007         Ca.: 0.005         4.7         Mo.2.1         V.0.053         Ca.: 0.0106         <		ပ	Si	Wn	Д	S	Cr	Al	z	Z	Cu, Mo, W, Co	Ti, Nb, V, Zr, Hf, Ta	Ca, Mg, KEM, B	*	**	
0.0035         0.25         0.018         0.001         11.1         0.0165         6.5         Mo.1.6         V.0.051         C2.008         C2.001         C2.002         0.0056         6.5         Mo.1.6         V.0.053         C2.0008         C2.0.0014           0.0014         0.25         0.018         0.0011         12.2         0.022         0.0056         6.5         Mo.1.6         V.0.053         C2.0.0014           0.0038         0.31         0.68         0.018         0.001         13.4         0.025         0.0059         7.3         Mo.2.6         V.0.049         C2:0.0021           0.0038         0.31         0.68         0.018         0.001         12.8         0.018         0.0070         6.2         Mo.2.7         Ti.0.072, V.0.051         C2:0.0022           0.0057         0.15         0.01         12.8         0.014         0.0070         6.2         Mo.2.7         Ti.0.072, V.0.051         C2:0.0022           0.0058         0.15         0.011         12.0         0.019         0.0046         5.9         Mo.2.7         Ti.0.043, V.0.053         C2:0.0023           0.0058         0.15         0.011         12.0         0.019         0.0046         5.9         Mo.2.7	i i	0 0045		0.85			12.1	0.020	0.0079	5.0	Mo:1.9	V:0.057	Ca: 0.0012	0	0.0045	<b>本郑邦</b>
0.0011         0.25         0.45         0.018         0.0011         1.2.         0.0022         0.0055         6.5         Mo:1.6         V:0.038         Ca:0.008         Ca:0.0004           0.0042         0.44         1.13         0.015         0.001         10.4         0.0078         4.2         Mo:2.1         V:0.053         Ca:0.0014           0.0042         0.44         1.13         0.015         0.001         13.4         0.0056         7.3         Mo:2.5         V:0.049         Ca:0.0021           0.0056         0.24         0.11         0.017         0.0072         12.6         0.018         0.0046         6.1         Mo:2.7         T1:0.072, V:0.059         Ca:0.0022           0.0057         0.15         0.015         0.019         0.0046         5.9         Mo:2.7         T1:0.043, V:0.053         Ca:0.0023           0.0057         0.15         0.015         0.019         0.0046         5.9         Mo:2.7         T1:0.043, V:0.054         Ca:0.0023           0.0058         0.15         0.015         0.019         0.0046         5.9         Mo:2.5         Mo:2.1         T1:0.043, V:0.044         Ca:0.0023           0.0058         0.15         0.011         1.2	-1	0 0035		0.52			11.1	0.018	0.0065	4.7	Mo:2.1	V:0.051	Ca:0.0016	0	0.0035	本発明例
0.0042         0.44         1.13         0.015         0.0178         4.2         Mo.2.1         V:0.053         Ca.0.0014           0.0088         0.31         0.68         0.018         0.018         0.0078         7.3         Mo.2.5         V:0.049         Ca.0.0021           0.0088         0.31         0.68         0.018         0.017         0.0078         6.1         Mo.2.3         Ti:0.049         Ca.0.0022           0.0068         0.24         0.61         0.017         0.017         0.0044         0.007         6.2         Mo.2.7         Ti:0.043         V:0.044         Ca.0.0023           0.0058         0.12         1.09         0.014         0.0074         6.2         Mo.2.7         Ti:0.043         V:0.044         Ca.0.0023           0.0058         0.12         0.01         1.0         0.0046         5.9         Mo.2.7         Ti:0.043         V:0.044         Ca.0.0023           0.0058         0.12         0.01         0.0043         4.8         Mo.2.1         Mo.2.044         Ca.0.0023           0.0059         0.12         0.01         0.0046         5.9         Mo.2.2         Mo.2.1         Vio.044         Ca.0.0023           0.0058         0.2	ţ	0.0011		0.45	0.018		12.2	0.022	0.0055	6.5	Mo:1.6	V:0.038	Ca:0.0008	0	0.0011	本発明例
0.0058         0.13         0.68         0.018         0.001         13.4         0.025         0.0059         7.3         Mo:2.6         V:0.049         Ca:0.0022           0.0058         0.24         0.61         0.017         0.0078         6.1         Mo:2.3         Ti:0.072, V:0.051         Ca:0.0022           0.0058         0.24         0.61         0.015         0.014         0.0070         6.2         Mo:2.7         Ti:0.043, V:0.063         Ca:0.0023           0.0057         0.15         0.015         0.001         12.0         0.016         0.016         0.0046         5.9         Mo:2.7         Ti:0.043, V:0.063         Ca:0.0023           0.0052         0.16         0.015         0.019         0.016         6.010         0.0046         5.9         Mo:2.7         Ti:0.043, V:0.063         Ca:0.0023           0.0052         0.16         0.10         0.016         0.016         0.016         6.010         0.016         6.010         0.016         7.016         0.002         0.020         0.002         0.028         0.0063         4.8         Mo:2.1         Ti:0.043, V:0.044         Ca:0.0023           0.0052         0.18         0.028         0.0063         0.028         0.0063	1	0 0042					10.4	0.018	0.0078	4.2	Mo:2.1	V:0.053	Ca:0.0014	0	0.0042	本発明例
0.0058         0.24         0.015         0.017         0.078         6.1         Mo:2.7         Ti:0.072,V:0.051         Ca:0.0023           0.0058         0.24         0.015         0.016         12.8         0.014         0.0076         6.2         Mo:2.7         Ti:0.043,V:0.063         Ca:0.0023           0.0058         0.15         0.015         0.001         12.0         0.019         0.0045         5.9         Mo:2.7         Ti:0.043,V:0.063         Ca:0.0023           0.0052         0.15         0.015         0.019         0.0063         4.8         Mo:2.1         ND:0.053,V:0.039         Ca:0.0023           0.0052         0.16         1.15         0.020         10.15         0.0063         4.8         Mo:2.1         ND:0.053,V:0.039         Ca:0.0023           0.0052         0.16         1.18         0.022         10.02         10.02         0.0063         4.8         Mo:2.1         ND:0.053,V:0.039         Ca:0.0010           0.0053         0.32         1.18         0.016         1.02         0.0064         4.8         Mo:2.1         Ti:0.055,V:0.053         Ca:0.0010           0.0084         0.02         0.02         0.02         0.02         0.02         0.02         0.0	1	0 0038					13.4	0.025	0.0059	7.3	Mo:2.6	V:0.049	Ca:0.0021	0	0.0038	本発明例
0.0057         0.15         0.63         0.015         0.014         0.0046         5.9         Mo:2.7         Ti:0.043, V:0.063         Ca:0.0023           0.0057         0.15         0.015         0.011         12.8         0.014         0.0046         5.9         Mo:2.5         Nb:0.072, V:0.044         Ca:0.0023           0.0052         0.15         1.19         0.002         11.5         0.010         0.0043         4.8         Mo:2.1         Nb:0.069, V:0.039         Ca:0.0021           0.0052         0.16         1.15         0.020         0.001         11.8         0.028         0.0063         4.8         Mo:2.1         Ti:0.056, V:0.030         Ca:0.0021           0.0053         0.49         1.18         0.028         0.0063         4.8         Mo:2.1         Ti:0.055, V:0.030         Ca:0.0021           0.0083         0.49         1.18         0.029         0.0062         6.5         Mo:2.2         Nb:0.055, V:0.059         Ca:0.0021           0.0084         0.28         0.0062         5.6         Mo:2.2         Nb:0.068, Tr:0.059, W:0.063         Ca:0.0010           0.0085         0.18         0.0013         0.0064         4.8         Mo:2.2         Nb:0.069, W:0.059         Ca:0.005	l l	0 0068		0.61	0.017		12.6	0.018	0.0078	6.1	Mo:2.3	Ti:0.072, V:0.051	Ca:0.0022	0.0154	0.0017	本発明例
0.0052         0.12         1.09         0.015         0.010         0.0046         5.9         Mo:2.5         Nb:0.072, Y:0.044         Ca:0.003           0.0052         0.12         1.09         0.015         0.001         11.5         0.010         0.0073         6.5         Mo:2.1         Nb:0.069, Y:0.039         Ca:0.0009           0.0052         0.16         1.15         0.010         0.0073         4.8         Mo:2.1         Ti:0.069, Y:0.039         Ca:0.0001           0.0053         0.49         1.18         0.020         0.0029         0.0082         6.5         Mo:2.1         Ti:0.065, Nb:0.031, V:0.051         Ca:0.0010           0.0058         0.22         1.07         0.016         0.001         12.5         0.026         0.0064         4.8         Mo:2.2         Nb:0.068, Zi:0.059, V:0.053         Ca:0.0010           0.0058         0.22         1.07         0.016         0.001         12.5         0.026         0.0064         4.8         Mo:2.2         Nb:0.068, Zi:0.059, V:0.053         Ca:0.0010           0.0058         0.13         0.046         0.031         0.062         5.6         Mo:2.6         Ti:0.068, Zi:0.068, Zi:0.059, V:0.059         Ca:0.0010           0.0075         0.13	-	0.0057		0 63		0,00			0.0070	6.2	Mo:2.7	Ti:0.043, V:0.063	Ca:0.0023	0.0097	0.0025	本発明例
0.0052         0.16         1.15         0.0073         6.5         Mo:2.1         Nb:0.069, V:0.039         Ca:0.0009           0.0052         0.16         1.15         0.020         0.0063         4.8         Mo:1.6         Zr:0.075, V:0.030         Ca:0.0021           0.0052         0.13         1.18         0.020         0.001         11.8         0.0053         6.5         Mo:2.1         Ti:0.055, Nb:0.051         Ca:0.0021           0.0083         0.49         1.18         0.026         0.026         0.0064         4.8         Mo:2.2         Nb:0.065, Nb:0.051, V:0.053         Ca:0.0010           0.0084         0.22         1.07         0.016         0.001         12.5         0.026         0.0064         4.8         Mo:2.2         Nb:0.065, Nb:0.051, Zr:0.059, V:0.063         Ca:0.0010           0.0085         0.13         0.026         0.026         0.026         0.0264         4.8         Mo:2.5         Ti:0.059, Nb:0.021, Zr:0.056, V:0.063         Ca:0.0018           0.0085         0.13         0.062         5.6         Mo:2.6         Ti:0.059, Nb:0.032         Ca:0.0018           0.0075         0.25         0.017         0.022         0.028         4.9         Mo:3.0         Ti:0.031, V:0.042 <t< td=""><td>1</td><td>0 0058</td><td></td><td></td><td>_</td><td>100</td><td></td><td></td><td>0.0046</td><td>5.9</td><td>Mo:2.5</td><td>Nb:0.072, V:0.044</td><td>Ca:0.0023</td><td>0.0042</td><td>0.0044</td><td>本発明例</td></t<>	1	0 0058			_	100			0.0046	5.9	Mo:2.5	Nb:0.072, V:0.044	Ca:0.0023	0.0042	0.0044	本発明例
0.0052         0.32         1.19         0.020         0.001         11.8         0.029         0.0063         4.8         Mo:1.6         Zr:0.075, V:0.030         Ca:0.0021           0.0052         0.32         1.19         0.020         0.001         11.8         0.029         0.0082         6.5         Mo:2.1         Ti:0.065, Nb:0.031, V:0.051         Ca:0.0010           0.0068         0.22         1.07         0.016         0.001         12.5         0.026         0.0064         4.8         Mo:2.2         Nb:0.065, Zr:0.059, V:0.063         Ca:0.0012           0.0085         0.13         0.064         4.8         Mo:2.5         Nb:0.065, Zr:0.059, V:0.063         Ca:0.0018           0.0085         0.13         0.064         4.8         Mo:2.6         Ti:0.059, Nb:0.021, Zr:0.056, V:0.064         Ca:0.0018           0.0085         0.13         0.062         5.6         Mo:2.1         V:0.059, V:0.056, V:0.056, V:0.064         Ca:0.0018           0.0075         0.13         0.06         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.01         0.	- 1	0 0059				0 00%	11.5		0.0073		Mo:2.1	Nb:0.069, V:0.039	Ca:0.0009	0.0013	0.0048	本発明例
0.0083         0.49         1.18         0.029         0.029         0.0082         6.5         Mo:2.1         Ti:0.065, Nb:0.031, V:0.051         Ca:0.0010           0.0083         0.49         1.18         0.016         0.002         12.9         0.0064         4.8         Mo:2.2         Nb:0.065, Zr:0.059, V:0.063         Ca:0.0021           0.0085         0.13         0.46         0.015         0.001         12.5         0.031         0.0062         5.6         Mo:2.6         Ti:0.059, Nb:0.021, Zr:0.059, V:0.064         Ca:0.0018           0.0085         0.13         0.066         0.0079         5.5         Mo:1.6         Ti:0.061, V:0.032         Ca:0.0008           0.0075         0.25         0.55         0.017         0.002         12.3         0.023         0.0084         5.3         Mo:2.1         V:0.035         Ca:0.0008           0.0078         0.25         0.55         0.017         0.002         12.9         0.028         4.5         Mo:2.1         V:0.035         Ca:0.0016           0.0078         0.25         0.55         0.017         0.002         12.9         0.028         4.5         Mo:3.0         Ti:0.031, V:0.042         Ca:0.0016           0.0078         0.02	1	0 0059	_	10		0 001	~		0.0063	4.8	Mo:1.6	Zr:0.075, V:0.030	Ca:0.0021	0.0019	0.0046	本発明例
0.0068         0.22         1.07         0.015         0.021         12.5         0.0064         4.8         Mo:2.2         Nb:0.068, Zr:0.059, V:0.063         Ca:0.0021           0.0068         0.22         1.07         0.016         0.001         12.5         0.0064         4.8         Mo:2.6         Ti:0.059, Nb:0.069, V:0.064         Ca:0.0018           0.0085         0.13         0.46         0.015         0.001         12.5         0.018         0.0079         5.5         Mo:1.6         Ti:0.061, V:0.032         Ca:0.0018           0.0075         0.25         0.55         0.017         0.002         12.3         0.023         0.0084         5.3         Mo:2.1         V:0.035         Ca:0.0015           0.0078         0.25         0.55         0.017         0.002         12.9         0.022         0.0084         5.3         Mo:3.0         Ti:0.051, V:0.032         Ca:0.0015           0.0078         0.22         0.03         0.018         0.022         0.0084         4.5         Mo:3.0         Ti:0.031, V:0.042         Ca:0.0010           0.0078         0.01         0.02         0.030         0.0058         4.5         Mo:1.9         Ti:0.186, V:0.039         Ca:0.0011           0.0051 <td>- 1</td> <td>0.000</td> <td></td> <td></td> <td>010</td> <td>0000</td> <td></td> <td></td> <td>0 0082</td> <td>٠. د</td> <td>Mo:2.1</td> <td>Ti:0.065, Nb:0.031, V:0.051</td> <td>Ca:0.0010</td> <td>0.0153</td> <td>0.0032</td> <td>本発明例</td>	- 1	0.000			010	0000			0 0082	٠. د	Mo:2.1	Ti:0.065, Nb:0.031, V:0.051	Ca:0.0010	0.0153	0.0032	本発明例
0.0085         0.13         0.46         0.015         0.008         5.6         Mo.2.6         Ti:0.059,Nb:0.021, Zr:0.026, V:0.064         Ca:0.0018           0.0085         0.13         0.46         0.015         0.001         12.5         0.018         0.0079         5.5         Mo:1.6         Ti:0.059,Nb:0.021, Zr:0.026, V:0.064         Ca:0.0008           0.0075         0.13         0.05         0.0079         12.8         0.0079         5.5         Mo:2.1         V:0.035         Ca:0.0015           0.0076         0.25         0.017         0.002         12.8         0.0084         5.3         Mo:2.1         V:0.035         Ca:0.0015           0.0078         0.25         0.03         0.002         12.9         0.022         0.0088         4.9         Mo:3.0         Ti:0.031, V:0.042         Ca:0.0010           0.0078         0.46         0.34         0.012         0.022         0.0088         4.5         Mo:1.9         Ti:0.186, V:0.039         Ca:0.0011           0.0078         0.46         0.34         0.01         12.0         0.030         0.0058         4.1         Mo:0.4         Ti:0.035, V:0.058         Ca:0.0019           0.0081         0.007         0.030         0.030	- 1	0.0000			0.010	00.00			0 0064	8 4	Mo. 2. 2	Nb:0.068, Zr:0.059, V:0.063	Ca:0.0021	0.0077	0.0042	本発明例
0.0075         0.13         0.05         0.013         0.0079         5.5         Mo:1.6         Ti:0.061, V:0.032         Ca:0.0008           0.0078         0.078         0.078         5.5         Mo:2.1         V:0.035         Ca:0.0015           0.0078         0.078         0.078         5.5         Mo:2.1         V:0.035         Ca:0.0016           0.0078         0.22         0.084         5.3         Mo:2.1         V:0.03         Ca:0.0016           0.0078         0.22         0.088         4.9         Mo:3.0         Ti:0.031, V:0.042         Ca:0.0010           0.0078         0.6         0.78         0.0058         4.5         Mo:1.9         Ti:0.186, V:0.039         Ca:0.0011           0.0051         0.007         0.030         0.0058         4.1         Mo:0.4         Ti:0.035, V:0.058         Ca:0.0011           0.0051         0.007         0.007         0.007         0.0053         4.1         Mo:0.4         Ti:0.035, V:0.058         Ca:0.0019	- i	0,000		1.0		0.001	19 5		0 0062	9	Mo.2. 6	Ti:0.059,Nb:0.021,Zr:0.026,V:0.064	Ca:0.0018	0.0176	0.0026	本発明例
0.0075         0.25         0.55         0.017         0.023         0.0084         5.3         Mo:2.1         V:0.035         C.035         Ca:0.0015           0.0075         0.25         0.55         0.017         0.022         12.9         0.0088         4.9         Mo:3.0         Ti:0.031, V:0.042         Ca:0.0010           0.0078         0.25         0.018         0.002         12.9         0.022         0.0058         4.5         Mo:1.9         Ti:0.186, V:0.039         Ca:0.0011           0.0078         0.46         0.34         0.017         0.001         12.0         0.0058         4.1         Mo:0.4         Ti:0.186, V:0.058         Ca:0.0011           0.0051         0.018         0.050         0.0053         4.1         Mo:0.4         Ti:0.035, V:0.058         Ca:0.0019	1	0.000		0 05		00.00	19.5	0.018	0.0079	2 2	Mo:1.6	Ti:0.061, V:0.032	Ca:0.0008	0.0110	0.0098	比較例
0.0088         0.22         0.03         0.018         0.02         0.0088         4.9         Mo:3.0         Ti:0.031, V:0.042         Ca:0.0010           0.0078         0.46         0.34         0.019         0.002         12.0         0.0058         4.5         Mo:1.9         Ti:0.035, V:0.039         Ca:0.0011           0.0051         0.018         0.080         0.0053         4.1         Mo:0.4         Ti:0.035, V:0.058         Ca:0.0019           0.0084         0.016         0.02         0.024         0.0081         5.2         Mo:2.4         Ti:0.035, N:0.036, V:0.036, V:0.061         Ca:0.0019	- 1	0 0075				0 00%	12.3	0.023	0.0084	5.3	Mo:2.1	V:0.035	Ca:0.0015	0	0.0075	比較例
0.0078         0.46         0.34         0.017         0.001         12.0         0.0058         4.5         Mo:1.9         Ti:0.186, V:0.039         Ca:0.001           0.0051         0.018         0.82         0.017         0.001         12.6         0.0053         4.1         Mo:0.4         Ti:0.035, V:0.058         Ca:0.0019           0.0051         0.18         0.82         0.017         0.001         12.8         0.084         0.0081         5.2         Mo:2.4         Ti:0.035, Nb:0.035, V:0.036, V:0.061         —	- 1	0.00			0 018		12.9		0.0088		Mo:3.0	Ti:0.031, V:0.042	Ca:0.0010	0.0035	0.0076	比較例
0.0051 0.18 0.82 0.017 0.001 12.6 0.030 0.0053 4.1 Mo:0.4 Ti:0.035, V:0.058 Ca:0.0019	1	0.000		0.34	0.019	0.00	12.0	0.030	0.0058	4.5	Mo:1.9	Ti:0.186, V:0.039	Ca:0.0011	0.0447	-0.0071	<b>乙較</b>
O DORA O A1 D 34 D 020 D 00 D 12 8 D 024 D 0081 5.2 Mo.2.4 Ti.0. 035, Nb.0. 033, Zr:0. 036, V:0. 061	1	0.0051				0.001	12.6		0.0053	4.1	Mo:0.4	Ti:0.035, V:0.058	Ca:0.0019	0.0088	0.0022	本発明例
	U	0 0084	0 41		0.00		12.8	0.024	0.0081	5.2	Mo:2.4	Ti:0.035, Nb:0.033, Zr:0.036, V:0.061	ı	0.0128	0.0041	本発明例

\*) Cpre=12.0 {Ti/47.9+1/2 (Nb/92.9+Zr/91.2) +1/3 (V/50.9+Hf/178.5+Ta/180.9) -N/14.0}、ただし、Cpre<0の場合はCpre=0 S 0.0084 0.41 0.34 0.020 0.002 12.8 0.024 0.0081 5.2 Mo:2.4 Ti:0.035,Nb:0.033,Zr:0.036,V:0.061

[0050]

2	
1	
**	

	14 1 7 1 V	77												-	ı
器				卯	••	俳	彸	*	Ē	(mass%)			cpre	2 2 3 3 3	盆
ž	ر	5.	Si Mn	Д	v.	1	A1	z	Ni	Cu. Mo. W. Co	Ti, Nb, V, Zr, Hf, Ta	Ca, Mg, REM, B	*	*	
= =	14 0 0069 0 95 0 44 0 015 0 001	76 0	1 0	0 015	0 001	19 0	0.00	19 0 0 000 0 0081	гс. 	Cn: 3. 2	Ti:0.035.V:0.072	Ca:0.0021	0.0092	0.0031	本発明例
¥	0.0004	0.43	F   1	3 6	100		200	0200	,	Mo.1 9	Ti.O 069 V.O 048	Ca-0 0017	0.0140	0.0140 0.0029	本発明例
ຊ	10 0.0076 0.30 0.51 0.016 0.001	  	0.5	0.016	. WI	F. 3	11.9 0.030	0.00	4.	MU.1.2	11.0.000, 1.0.0±0	200.00			
=	10 0.0069 0.19 0.35 0.018 0.001	0.19	0.35	0.018	0.001	11.3	0.019	11.3 0.019 0.0082 5.3	5.3	W:1.3	Ti:0.050, V:0.041	Ca:0.0020	0.0087	0.0087   0.0040	本光型图
=	0 0045 0 41 0 87 0 012 0 001	0 41	0 87	0.012	0.00	11.8	0.025	11.8 0.025 0.0025 5.4		Mo:1.6	Hf:0.143	ı	0.0011	0.0011 0.0041	本発明例
!	2 2	3 3	,		,	c c	700 0	1600	7 5	W.1 0	Ta:0 157	1	0.0013	0.0013 0.0039	本発明例
≓	IF   0.0043   0.35   1.36   0.014   0.001	0.35	L. 36	0.014	0.00	12.3	0.024	12.3   0.024   0.0029	÷.	1.1.0	14.0.101				
2	16 0 0068 0.24 1.02 0.009 0.001	0.24	1,02	0.00	0.001	12	0.030	. 5 0.030 0.0068	5, 1	Mo:2.0	Ti:0.065, V:0.035	Mg:0.0025	0.0132 0.0024	0.0024	本発明例
: =	111 0 0081 0 % 0 69 0 019 0 001	9,6	0 69	0 012	0 001	≏	0.024	1 0.024 0.0063	5.2	Mo:2.1	Ti:0.073, Nb:0.012, V:0.041	REM: 0.0054 0.0169 0.0025	0.0169	0.0025	本発明例
= =	11 0 0075 0 95 0 45 0 013 0 001	2 C	0 AF	0.013	100	12.0	0 023	12 0 0 023 0 0072 4.8 Mo:1.9	4.8	Mo: 1.9	Ti:0.079, V:0.026	B:0.0015	0.0157 0.0023	0.0023	本発明例
	*) Cure=12. 0 {ft} / 47. 9+1/2 (Nb/92. 9+2r.	(Ti)	747.9+	-1/2 (Sp	/92.9	+Zr/5	11.2) +	1/3 (V,	/50.9-	HI / 178.5+	/91.2) +1/3 (V/50.9+HI/178.5+Ta/180.9) -N/14.0}、ただし、Cpre<0の場合はCpre=0	ic, cpre<0	の場合は	Cpre=(	
*C.S.	*CS0I=C-I/3×Cpre	1/3/	Cpre												

【0051】 【表3】

備考			1	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	本発明例	比較 可	比較例	比較函	比較例	万数逐	<b>光敷</b>
IIAZ 耐粒界応力腐食割水性	割れの有無		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	×	×	0	×	0
<b>声能</b> 亿数	成力割化性			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0
<b>頻</b>	•	孔食発生	の有無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0
一面炭酸ガス腐食性		腐食速度	(mm/yr)	0.033	0.034	0.055	0.087	0.103	0.021	0.048	0.046	0.043	0.069	0.055	0.033	090 0	0.088	0.092	0.105	0.084	0.077	0.092	0.098	0.086
勒性	<u>!</u>	VE-40	J	227	236	233	238	231	238	204	243	228	219	202	234	219	238	250	227	202	222	62	247	211
4)	1	TS	MPa	853	849	779	875	882	702	770	900	773	732	892	701	814	797	864	749	842	750	968	746	742
引服特件	<u> </u>	YS	MPa	623	611	592	621	626	579	809	639	626	599	634	575	619	614	639	209	615	585	636	612	902
教伽理	i			QT	£-	OT	QT	OT	OT	OT	į.	OT	D.T.	TO	TO	OT	QT	QT	OT	OT	OT	OT	QT	D.T.
	芦	軐		0	C	0	0	С	O	C	C	C	C	C	C	C	0	0	С	C	C	0	0	×
<b>;</b>  -	S			A	\ \ 	3	U	۵	H	(I	, (r	. (*	+	-	+	-	-	-	╀	-	┿	╀-	┼	$\dotplus$
3 8	海	S		-	6	1 65	4	rc.	၂ဖ	2	. 00	6	٤	=	= 1	: ≃	14	15	=	: =	28	1 5	ន	5

[0052]

## 【表4】

	醋赤				本発明例							
	<del></del> -											
	HAZ 耐粒界応力腐食割れ性	割れの有無			0	0	0	0	0	0	0	0
		一応力割れ性	-		0	0	0	0	0	0	0	0
	鲔食性		孔食発生	の有無	0	0	0	0	0	0	0	0
	一耐炭酸ガス腐食性		腐食速度	(m/yr)	0.054	0.054	0.045	0.053	0.045	0.042	0.043	0.047
	勒傑		VE-40	ь.	203	211	209	211	206	213	203	211
	豣		TS	MPa	735	765	752	892	784	692	751	743
	引張特性		YS	MPa	610	620	109	612	598	589	579	621
	熱処理				QT							
-	整置	加工	型		0	0	0	0	0	0	0	0
マークX	<b>S</b>	Š.			IA	10	=	1E	IF	16	Ħ	Ξ
X	塞	讏	No.		22	24	25	97	27	28	53	30

[0053]

本発明例はいずれも、溶接後熱処理を施すことなく溶接熱影響部のIGSCCを防止することができ、溶接熱影響部の耐粒界応力腐食割れ性に優れていることがわかる。また、本発明例はいずれも、ラインパイプ用として母材の強度、靭性に優れるうえ、母材の耐炭酸ガス腐食性、耐硫化物応力腐食割れ性にも優れ、さらに充分な熱間加工性をも有している。これに対し、本発明の範囲を外れる比較例は、溶接熱影響部にIGSCCが発生し、溶接熱影響部の耐粒界応力腐食割れ性が不足している。

#### 【図面の簡単な説明】

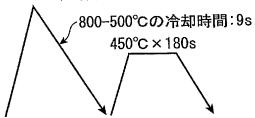
[0054]

【図1】実施例で使用した溶接再現熱サイクルを模式的に示す説明図である。

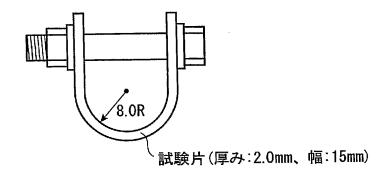
【図2】実施例で使用したU曲げ応力腐食割れ試験用試験片の曲げ状況を模式的に示す説明図である。

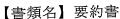
【書類名】図面【図1】

ピーク温度:1300℃(1s保持)



【図2】





【要約】

溶接熱影響部の耐粒界応力腐食割れ性に優れたラインパイプ用マルテンサイ 【課題】 ト系ステンレス鋼管を提案する。

【解決手段】 mass%で、C:0.0100%未満、N:0.0100%未満、Cr:10~14%、Ni:3 ~8%、あるいはさらに、Si、Mn、P、S、Alを適正範囲とし、さらにCu:4%以下、Co : 4%以下、Mo: 4%以下、W: 4%以下のうちの1種以上、およびTi: 0.15%以下、Nb :0.10%以下、V:0.10%以下、Zr:0.10%以下、Hf:0.20%以下、Ta:0.20%以下のう ちの1種以上を、Csol=C-1/3×Cpre (ここで、Cpre=12.0 | Ti/47.9+1/2 (Nb/9 2.9+Zr/91.2) +1/3 (V/50.9+Hf/178.5+Ta/180.9) -N/14.0 、なお、Cpre < 0 の場合は、Cpre= 0 とする) で定義される Csolが 0.0050 %未満を満足するように、 含有する。これにより、溶接熱影響部に発生する粒界応力腐食割れを防止することができ る。さらに、Ca、Mg、REM、Bのうちの1種以上を含有してもよい。

【選択図】 なし

ページ: 1/E

## 認定・付加情報

特許出願の番号

特願2004-135975

受付番号

5 0 4 0 0 7 4 6 7 9 5

書類名

特許願

担当官

第五担当上席

0094

作成日

平成16年 5月10日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】

000001258

【住所又は居所】

東京都千代田区内幸町二丁目2番3号

【氏名又は名称】

J F E スチール株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】

100099531

【住所又は居所】

千葉県船橋市本町6丁目1番7号 エスペランサ

K 4 階 小林特許事務所

【氏名又は名称】

小林 英一

特願2004-135975

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000001258]

1. 変更年月日 [変更理由]

2003年 4月 1日

名称変更 住所変更

住 所

東京都千代田区内幸町二丁目2番3号

氏 名 JFEスチール株式会社